



アイズ

Vol.13 (2017. 1)

住所：倉吉市天神町233-1

Tel・FAX 0858-26-0230

E-mail fujitakahiro@hb.tp1.jp

http://mei25kami6sakura.ne.jp/www/

倉吉市議会議員 藤井隆弘

藤井たかひろ

【アイズ】目線合図・相図、愛ず

発行：藤井たかひろ後援会事務所

討議資料

新年を迎えて

アイズ13号(HP版)の発刊となりました。お届けはアイズ13&14合併号として今春4月以降の予定です。なお、「アイズ」は、ホームページ(<http://mei25kami6.sakura.ne.jp/www/>)でもご覧いただけます。

12月議会では「日本一安心安全なまちづくり(鳥取中部地震と関連して)」として昨年10月21日(金)に発生した鳥取中部地震に関連した質問、特に地震発生から50日余り経っての振り返り、復旧・復興、安心安全なまちづくりに向けた取組を中心に質問をしました。

年が明け、1月11日(水)には鳥取県中部地震対策を中心とした臨時議会が開催されました。専決を含め鳥取県中部地震対策の予算は5回、延べ50億円を超えました。自由に使える基金もわずかになっています。このような状況の中、本年を復旧・復興の元年として倉吉市のまちづくりを進めていかなければなりません。

アイズが「くらしよし倉吉」を元気に、「住みたい、帰りたい、行きたいまち倉吉」の一助となれば幸いです。

主な活動日誌(平成28年10月～平成29年1月)

- 10/1 倉吉市表彰式。倉吉女子駅伝開会式
- 2 Dayキャンプ(大平山を探検!)
- 13 上井地区市長要望、市戦没者慰霊祭
- 15 ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会開会式、上北条小学校音楽会
- 17 上井神社例大祭、多度津町議会訪問
- 18 大平山公園藤棚剪定
- 19~21 視察(静岡市、鎌倉市、東京都千代田区)
- 11/5 校内文化祭(久米、西、東、河北中)
- 11 小学校研究大会(河北小)
- 12 青少年の森整備作業
- 15 ライオンズクラブ災害支援金贈呈(倉吉市、北条町へ)
- 19 上北条小学校収穫祭
- 22 東中学校区人権教育発表会(うつぎ保育園、成徳小、上灘小、東中)
- 24 臨時議会、全員協議会
- 12/6 倉吉市民生委員退任式
- 12~21 12月定例議会
- 1/3 倉吉市成人式
- 8 倉吉市消防団出初め式
- 11 1月臨時議会、倉吉市震災からの復興を祈念する会
- 12 ライオンズ4クラブ合同新年会
- 22 クリーンアップ大作戦(市図書館)
- 24 ライオンズ義援金贈呈(鳥取県へ)。県内4市議長会研修会
- 26 倉吉市バイオマス事業化講演会
- 31~2/2 視察(熊本県、鹿児島県)

議会運営委員会7回

(10月25日、11月14日、11月24日、12月5日、12月19日、12月21日、1月11日)

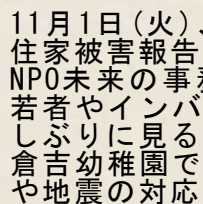
議員懇談会2回(10月25日、11月14日)

<ホームページから抜粋>

10月2日(日)、大平山でDayキャンプをしました。昼は栗ご飯とバーベキュー、基地を使った松ぼっくり合戦、ターザンロープ等で遊びました。来年もしたいという子どもたちの顔を見ながら一安心でした。



10月15日(日)、第6回ワールド・トレイルズ・カンファレンス鳥取大会のオープニングと記念講演がありました。記念講演では三浦雄一郎さんが「夢を追い続けて、歩く」という演題のお話を聞きました。



11月1日(火)、市役所西玄関前に住家被害報告を出す人。NPO未来の事務所で打ち合わせ、若者やインバウンドの観光客。久しぶりに見る光景。倉吉幼稚園で園長先生に被害状況や地震の対応等をお聞きする。成徳小学校・避難所訪問。カメラを持った来客。今日からお弁当給食で取材とか。子どもたちの表情が明るいのが何より。



姿勢 ■ 現場主義 ■ 情報公開 ■ 柔軟な思考 ■ 選択と集中 ■ プレない政治
作戦 「ス(住みたい)カ(帰りたい)イ(行きたい)」まち「倉吉スカイ作戦」
プロフィール

昭和51年3月
昭和57年4月～
平成11年4月～
平成16年10月～
平成25年10月～

早稲田大学卒業、イトーヨーカドー入社
愛知県岡崎市、鳥取県中部小学校教諭として勤務
倉吉市教育委員会事務局勤務
倉吉市立明倫小学校長、倉吉市立上北条小学校長
倉吉市議会議員(現在：教育福祉常任委員長、議会運営委員)



大切にしたい3つの「C」 challenge : 挑戦 choice : 選択 & concentration : 集中

12月議会報告 * 詳細は、倉吉市ホームページ等でご覧下さい。

一般質問(主な内容)	答弁及び今後の対応(主なもの)
<p>くらしよし倉吉スカイ作戦(6)</p>	
<p>日本一安心安全なまちづくり(鳥取中部地震と関連して)</p>	
<p>地震発生!!その時市内では</p>	
<p>1 市地域防災計画の想定被害以上の出来事が発生したが、次の点についてお聞きする。 ①市職員間での振り返りや話し合いは? ②避難所となった学校等職員の対応、保護者への引き渡しについての把握と評価は? ③地震発生時の市民の動きを市としては把握している? ○出来ることをやり、先進事例等もあわせ、倉吉バージョンの総括をお願いします。</p>	<p>①職員間ではまだできていない。早いうちに検証・反省をし、記録に残していきたい。 ②保護者への連絡など課題も残るが概ね対応できた ③アンケートからは住民の安否確認等活動が出来たところもあるが、リーダーがいないうる理由で活動できなかったところも半数程度あった。 振り返りを安心安全なまちづくり、地域防災計画等に活かしていきたい。</p>
<p>避難所について</p>	
<p>①18カ所の指定避難所に関して現時点での振り返りは? ②指定避難所以外で避難された方の状況と物資の供給等はどうか。</p>	<p>①職員も何も持たない状況で開設した。通 信手段も不十分なか中で、地域のりーだ一 等に協力を得て概ねスムーズにできた。学 校等避難所から部屋・設備の協力もあつた。定 ②自主避難所の方から連絡をいただき指 避難所物資を取りに来てもらった。校 庭での車中泊の方にも食料を提供した。</p>
	
<p>災害時における国、県、市の役割</p>	
<p>①災害時における国、県、市などの役割は決まっているのか。具体的にはどのような役割分担があるのか。 ②住宅の一部破損に対する支援について、「全 国初」と取り上げられているが、どのよう なものなのか説明をお願いしたい。 ○市の役割や負担が大きいことが分かる。こ のような実情を市民にも理解できるよう啓 発したい。</p>	<p>①災害対策基本法によって決まっている。県 おおざっぱに言うと国は財政的 市の手助け・広域調整、市は住民への直接 的対応ということになる。 ②損害率10%以上20%未満の「住宅再 援金」と10%未満の「住宅修繕支 援金」を再建支援金とは倉吉も半 分納税や義 援金等から出すことにしている。</p>
<p>公共施設 ハード面・ソフト面の整備</p>	
<p>①避難所となる学校の洋式トイレの整備は? ②避難所備蓄の充実、自家発電装置や飲料用 貯水槽の整備を考慮はどうか。 ○備蓄内容・設備等が関東、東海地区等に 比べて劣っている。検討が必要である。 ③風評被害(観光、企業進出等)への市とし ての対応はどうか。 ④学校給食の現状と今後の方向性、保護者へ の周知について教えて欲しい。</p>	<p>①交付金や地方債等を使い整備をすすめ、 洋式トイレ整備率は全体で90%になる。 ②県等と連携備蓄を分担している。不足が ちだったり時間がかかった。 場所・量・内容については今後の課題とし て考えていきたい。 ③企業の操業はほとんど影響がなくなった。 ひなびる等倉吉をSNS等を通じて発信 していく。県とも一緒になって活動する。 ④給食センターは整備を急ぎ4月からは開 始したい。中部4町や民間業者の協力を 得て1月からは週3回は給食を実施したい。 保護者へもきちんと説明をしていく。</p>
<p>空き家対策(地震と関連して)</p>	
<p>①市内の空き家の現状についてお聞きする。 ②「鳥取市で空き家解体、行政代執行」があ った。倉吉市の実態はどうなっているか。 ③北栄町で地震により空き家が崩れ、撤去し た事例があった。「緊急安全措置」の条文が ない倉吉市ではどうするのか。 ○空き家対策は短期的にも長期的にも重要 な課題である事を意識して取り組んでほしい。</p>	<p>①市内で空き家は864軒ある。そのうち 活用可能な家は680軒、管理不全な家が 184軒で危険なものが49軒ある。 ②法律や条例によって助言・指導したもの が70軒である。行政代執行した例はない。 除却の支援制度もあるので必要があれば代 執行を行う可能性もある。 ③条文はないが現状でも市が撤去を行うこ とは出てくる。どういった形がよいか、効果 も含めて検討していきたい。</p>

予算と重点施策との関連

① 今回の地震で基金もさきもさき・あ旧な
 少納税に当てる。災害復旧倉庫の
 復興にやま義援金をの
 寄附ではの使い方
 らではの使い方



① ふるのさかと納税等をどいう使えば有効活用でか
 るのさかと納税等をどいう使えば有効活用でか
 くるのさかと納税等をどいう使えば有効活用でか
 るのさかと納税等をどいう使えば有効活用でか

② 総合計画に基づく事業や学校・保育所再
 編、中心市街地活性化等市として取り組んで
 かなければならぬ。震災から進めていかな
 の復旧・復興を抱えながら進めていかな
 ばならないが考えを伺う。

② 復旧にあたっては3年、全体的な事業と
 なるも含めて長期的なまちづくり、3月
 の特別交付税のめども立つので、議
 しながら進めていきたい。

○倉吉の元気が大切。議会、行政が一体とな
 って元気な倉吉のため取り組みを進めたい。

視察報告

10月19日～21日 静岡、神奈川、東京

(1) 静岡県静岡市 10/19(水)

「全国市議会議長会研究フォーラム第1日目」
 基調講演の主旨は、地方議会に与党野党はない。議会も一つの
 機関。任期の間にもどのようなことを行うかが大切。真の二元代表
 制であれば「チーム議会」にならなければならない。
 パネルディスカッションでは「監視権の活用による議会改革」
 がテーマであった。



(2) 静岡県静岡市 10/20(木)

「全国市議会議長会研究フォーラム第2日目」
 課題討議。テーマは3名の事例報告をもとに「監視権を如何に行
 使すべきか」というテーマに切り込んだ。具体的な取組内容を発表
 で本市の議会活動にも参考になる点があった。
 来年度の研究フォーラムは兵庫県姫路市。議員活動研修の一環と
 して有意義な会であることを実感し会場を後にした。



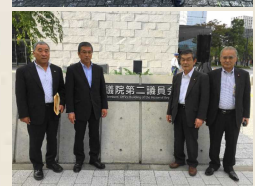
(3) 神奈川県鎌倉市 10/20(木)

「神奈川県立近代美術館鎌倉別館」
 前庭には、現代彫刻が野外展示されており、緑の多い周囲の環境と美し
 い調和を見せている。「松本竣介—創造の原点」を開催中であった。ギャ
 ラリートーク、連続講演会等の軸を持ち、時代を超えて人々を魅了させ、
 入館していただける美術館の一つのあり方であろうと思った。



(4) 東京都 10/21(木)

「要望活動、美術館および公共施設等視察」
 衆議院第2会館。県選出の代議士とお会いし、地方創生に向けた取組へ
 の支援をお願いする。国内外の状況、国のかかえている課題や方向性、TP
 P問題やアメリカやロシア等との関係づくりなどについてお聞きする。
 国立西洋美術館。美術館の特徴は作品のすばらしさと美術館建築である。
 ル・コルビュジェによる「無限成長美術館」を体現している。見通しのあ
 る空間、トップライト等建築と作品を楽しむ。世界遺産を体感。



東京都江戸東京博物館。両国国技館の隣にある博物館であ
 る。6階は「江戸ゾーン」、5階は「江戸から東京へ 東京
 ゾーン」になっている。インバウンド対応できるよう多言語掲
 示がなされ、展示音声ガイド、点字ガイドブック等バリアフ
 リーに対応している。



編集後記

アイズ13号(HP版)を発行することができました。これまで「く
 らしよし倉吉スカイ作戦」として、様々な角度から質問してきまし
 た。鳥取県中部地震から3ヶ月が経ちましたが、ブルーシートのかかっ
 ている家もあります。人口減少・少子高齢化が進行する中で市民サー
 ビスを行う市庁舎のあり方や産業の育成、学校・保育所再編、中心市街地の活
 性化等課題が山積しています。藤井たかひろは、「くらしよし倉吉」発展のた
 め努力してまいります。



やるき！本気！勇気！